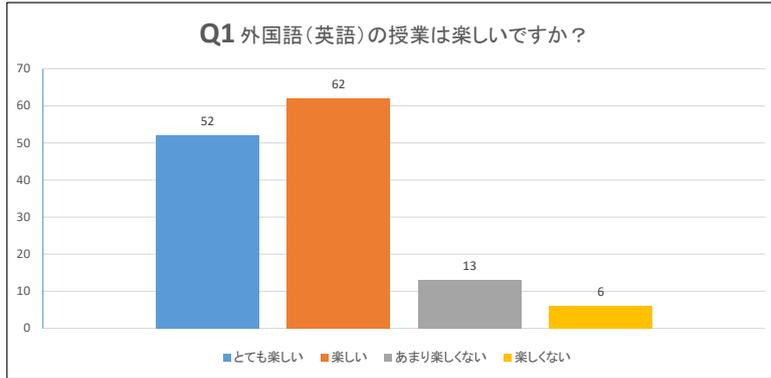


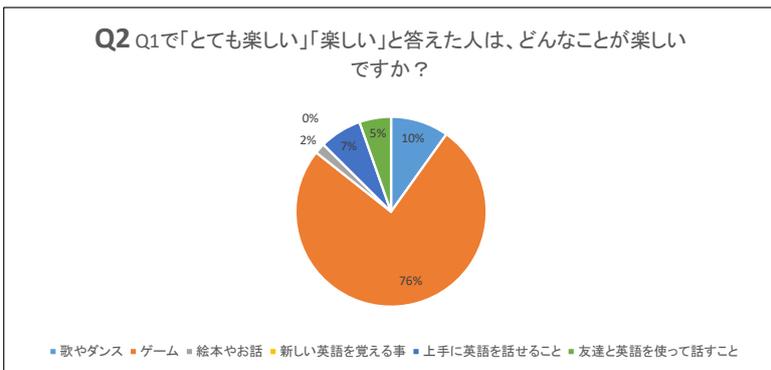
令和4年度外国語(英語)の授業に関する児童用アンケート調査結果の分析・考察(三角小学校)



【Q1について】

8割以上の児童が、外国語(英語)の授業について、肯定的に捉えており、楽しんで学習に取り組むことができている。

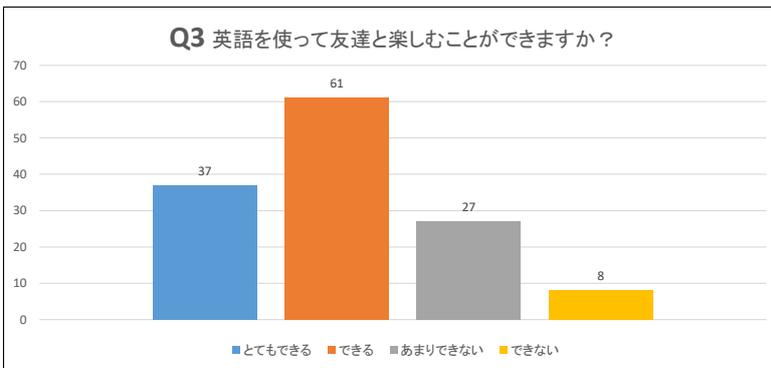
今後もより多くの児童が、外国語(英語)の授業に楽しく取り組むことができるように、授業の工夫を行っていききたい。



【Q2について】

子ども達が「楽しい」と感じている要素としては、主に「ゲーム」が挙げられる。学級の友達やALTと楽しく英語を使って遊ぶことに楽しさを感じていることが分かる。

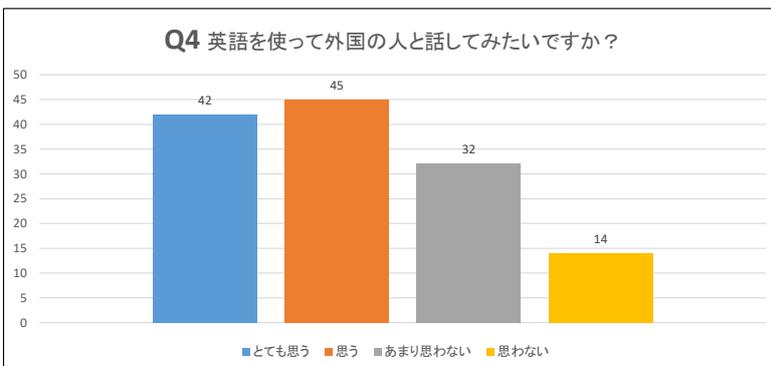
学級担任やALT、子どもたち同士の英語でのコミュニケーションの場面を増やしたり、英語表現の豊かさに触れたりすることで、様々な観点から英語に慣れ親しむことができるようにしていきたい。



【Q3について】

7割以上の児童が、友達と外国語(英語)でコミュニケーションをとることを肯定的に捉えており、楽しんで学習に取り組むことができている。

今後も児童同士が楽しくかわり合えるような場面設定を行っていききたい。



【Q4について】

外国の人と会話してみたいと感じている子どもは、全体の6割を超えており、英語を活用してコミュニケーションをとろうという意欲が感じられる。

一方で、ほかの質問より肯定的な回答の割合が低いいため、ALTを中心として、外国の人とコミュニケーションをとる場面を増やしていきたい。

【保護者・学校関係者からの意見・要望等】

- ・低学年の内から、英語に触れる環境(ALTとかかわれる機会)があることはいいと思う。
- ・英語を楽しく学んでいる様子であったので、もっと意欲的に行って欲しい。
- ・今後も宇城市の取組(1・2年生の英語活動)を継続して欲しい。

【考察・今後の展望等】

本校の児童は、全体的に外国語(英語)の授業に肯定的である。今後も、子どもたちが楽しく学べるような授業を工夫していく。その中で、「外国の人と話してみたい」という思いを繋げていくためにも、ALTとコミュニケーションをとる場面を増やしていくことで、子どもたちの自信と意欲を高めていきたい。